（大正八年三月七日第三種郵便物認可）　昭和五年八月十二日　THE IWAKIJIHO　（火曜日）　第四千九百六十七號（一）

十一日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　磐城時報社
一部金武錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

水道擴張工事認可され
平町民欣喜雀躍
實際の工事は二ヶ月後
平水道部柴山技師談

平町上水道擴張工事費起債は一部町議間に施工反對の運動があつたため一層許可を遲延されて居たが昨報の如く八日大藏省理財局長の決裁を得直に次官、參與官に回附、九日午後次田地方富田理財兩局長の條件附で內務省關係の擴張工事施工とともに許可された旨十日午前六時同町水道部に通知あつた、右起債は待ちあぐんで居たこととて同町水道部では十日は日曜日にもかゝわらず全員出勤雀躍りして施工準備を開始したが、起債額は申請通り金二十萬圓である、但し工費總額は三十三萬五千六百五十圓で當初豫算の三十七萬圓から見ると約一割に當る三萬四千三百五十圓を減額更正されたわけである、工事費を內譯すると工事費二十七萬一千八十二圓事務費三萬九千四百九十九圓、豫備費一萬圓、公債利子一萬四千四百六十九圓となる、兩局長の附したる條件左の如し。

一、國庫補助が豫定の如く收入ない場合は財產繰入をなし又は土地賣却代をもてこれを補塡、縣補助金が豫定の如く收入なき場合は町役場の建築を繰延べかつその財源である土地賣却代を振替補塡するものと認めて起債は許可されたので、この事業により累を町の一般財政に及ぼさぬやう十分注意を乞ふ。

一、地方貸付資金から六萬五千圓を上水道擴張に供給することを承認する。

右について平水道部柴山技師は語る

起債が認可になつて何よりである、總工費三十三萬五千余圓のうち二十六七萬圓は鐵管セメント並に用地買收代等に當てられ、六七萬圓は人夫賃となり、着工すれば一日五十人から二百人まで平均百三十人位の人夫を使用することになるので失業救濟にもならう材料の購入その他に相當時日を要するから多數の人夫を使用する實際工事までには今二三ケ月位を要するであらう。尙ほ工事はすべて直轄で計ふものである。云々

每夜私服巡査を派し
料亭を取締る
平署で弊風一掃の計劃
二十余名檢擧さる

平警察署では最近平町のカフエー並に飲食店が法規を無視して營業を行つてゐるもの多數あるので荒井平署長はかゝる不良の營業者を懲戒し、弊風を一掃すべく數日來署內巡査に命じ嚴重なる取締りを行はせてゐるが、檢擧されたものは平町三丁目カフエーヒロキ事武田キチが女給藤田ヒサノ、鈴木ナツノ兩名をして午前二時半まで營業をなしてゐたのを嚴罰に處した外、四丁目カフエーボタン事片寄半三郎も女給村上マツノをして時間外の營業をなさしめ、鍛冶町飲食店熊谷マツヨ(三七)は抱酌婦紅谷花子をして客引せしめ、三丁目角飲食店佐々木熊吉は酌婦淸野ヨシ(十九)をして客引せしめた外同樣の違反者二十余件を檢擧し何れも嚴罰に處したが、今後は每夜私服巡査をして警戒せしめ尙一層惡弊一掃に務むる由である。

平本年度電話
四口に決定

平町郵便局の本年度特別開通電話設備費は四百圓と決定受理數は四口と決り、十三日午前四時から抽籤を行ふ事になつた。

北海道旅行
途上通信
佐藤作平

七日朝札幌到着。同時に市內市場參觀、十時より會議場に至り午後一時より市內見物、午後六時當地一流の旗亭「幾代」に於て懇親の宴あり、席上舞台にて淸元。北州踊の後藝妓のダンス數番ありたるは北海道文化の現はれなるべし小生內地人の故を以て頗るもてる。內地のブ男、道內にては色男と變ず、アラ笑し（八日朝札幌市にて）

南町の高利貸が
強盜で告訴さる
詐欺といはれたのを憤慨して

平町南町五八高利貸飴田與三郎(四六)は平町鍛冶小路高橋某(五一)並に內緣の妻後藤ハル(三七)を相手取り平署に詐欺の告訴を提起した、內容は後藤ハルは本年七月二十三日家財道具を抵當として百圓を借りたが、一ヶ月後高橋と同棲するに至つたため道具を賣られては困るといふのでそれを引取りに高橋方を訪れたが引渡さなかつたといふにあるが、後藤ハルは金百圓は借りたが一ヶ月十圓宛三ヶ年間に返す約束である、道具は賣りも隱しもしないのに運びに來るとは穩當でないとアベコベに飴田を相手取つて平署に强盜の告訴を提起した。

▲加藤巡査退職　四倉警察署管內大野駐在所詰巡査加藤常壽氏は此程家事都合上退職した。

四倉濱
きのふの人出

四倉海水浴場十日第二日曜日の人出は一萬六七千人にて本年度最高記錄であらうと言はれてゐる。

朝日機を迎ひ
高等飛行
四倉町の催ほし

石城郡四倉町では同町青年團並に在郷軍人分會聯合主催で十五日國產品愛用の宣傳をなす事になつたが、同日は東京朝日新聞の飛行機「朝日號」を迎ひ海岸に於て高等飛行木の葉返し、宙返り等を行ふと。

▲奉仕大賣出し　石城郡四倉町本町永井藥店では十日から月末まで奉仕大賣出しを開催する。

大蛇現はる
大浦青年退治の相談

石城郡大浦村字赤沼農業新妻安之助が十日午前七時頃四倉町有地仲の山に於て草刈中猫の唸るやうな響がするので見廻した處、五間程離れた處に胴の周圍一尺五寸程もある大蛇が渦を卷いて晝寢してゐたので驚きそのまゝ歸宅したが附近青年達はこの話を聞いて大蛇退治の相談中である、尙ほ安之助は驚きの余り病床に就いた。

▲青年同盟總會　磐城青年同盟會昭和五年度總會は九日午後一時より新舞子に於て開催會員六十名參集會長改選の結果木村守江氏再選終つて園遊會に移り午後四時散會した。

獨身勞働者
百名申込

石城郡磐崎村藤原三井炭礦の休山により解雇された千余名の坑夫中九日まで七百余名退山したが、坑夫達の大多數は何れも就職口なく途方に暮てゐた折柄八日九州松島炭礦より「坑夫百名入用但し獨身者に限る」との採用申し込あり、鮮人坑夫の佐藤飯場では獨身者多く鮮人ばかりだから九州へ向けるとばかり一度下山した者まで呼び集めるなど大喜びでゐるが、坑夫長屋も大部分はガラ空きとなり、會社では共同浴場も水道も來る二十日を以て停止、二十五日からは全山の電燈も消す筈でいよ〳〵廢墟のやうになるのも近づいて來た。

田卷、綿引、長瀨三君の
自轉車旅行隊を激勵す
平町　匿名生

同君等が勇壯なる意氣と絕大なる希望とを以て遠く關西を踏破し身心の二つを練磨すべく鄉關を出でたのは綠香漂ふ七月の十三日、先夜の雨もからりと晴れた朝まだき朝霧を踏みしめ無難を祈る父兄朋友に送られ、勇みに勇んで出發したのだつた。其の日は大空快晴にして地面は灼然し若人の血をいやが上にも鬱勃させた。もう二十五日になる「一同元氣だ喜んで呉れ給ひ」と嚴島の飯篦に中國情緖を忍ばせて送つて呉れたのもつい二三日前の事だつた、君等はコースを延長して下の關迄と致圏いてゐる、神戶などは眼中になくなつた、此の豪氣、此の奮鬪、此の努力こそ若人のみが持つ特有性であつて、つまり若人の元氣が日一日と倍加し、更らに疲勞を感ぜず、或然かも此の酷熱をも怯げずする程度迄自然を征服す事と云ふ事實を證明する良い例であらう、君等のその英氣こそ實に愛すべきであつて、君等がその個人的健鬪は一人君等が艱難辛苦を縱橫に體驗するに留まらずして、此れ實に自驅健兒の存在を明かにするのみならず此の浪の香高き鄉土の所在と誇とを廣く關西中國に披瀝し、進んで彼等が姿を視察、對照し、以て鄉土發展の糧に資せんとする努力も窺知せらるゝのである。先に櫛田氏の靑、關間乘馬遠乘ありて普ねくその偉業を賞讃せざる者はなかつた、氏もやはり鄉土紹介の壯士でありその跡や實に辛艱苦業を以て彩られて居る、然し君等の此の計劃實踐も氏の偉業に優さるとも劣りはしまいと思ふ。將に君等が苦鬪は實に推察に余りあるものであつて、今や必死的努力を以て苦業を續けてゐる一隊を思ふ時知らずに落淚する事を感ずる。あゝ君等が目的は數日ならずして遂行されんとして居る、おゝ鄉民よ君等は今一息だ、大いに激勵して再び此の鄉土に英姿を表はす日の早やく安らかならん事を祈らうではないか。（終り）

▲四倉の遺失物

石城郡四倉警察署管内に於ける七月二十日から八月十日まで盜客出盛中の遺失物は十二件で現金十四圓七十五錢、金側時計一個である。

無燈火諸車 特別取締

平警察署では十日午後七時半から八時半まで一時間平町内が最も雜踏を極むる時刻に非番巡査を召集し無燈火諸車の特別取締りを執行したが、檢擧されたもの五十件に達した。

平第一校 臨海學校通信（第六信）

（八月八日）起られない程ねむかつた朝も、つめたい潮風に吹かれてやうやく眼をさまし、朝の行事を終つた。舍に歸れば遊ぶよりもころんだ方がよいまでになつた。六日目だもの、疲かれも出る筈。昨日にひきかへてうすら寒さを感ずる海岸、人の姿もちらほら。水の中より干上つた磯の遊びがよい樣だ、元氣な僕等は直ちに飛び込んで平泳ぎ、足と手が合はず「だめ」「だめだア」と先生にどなられ乍ら一生懸命、陸へも上らず防波堤に上る。はてしなく續く太平洋の大海原、僕等はこの大海原にむかつて大きな聲で「オーイ。僕等は元氣だぞ」と呼びかけたい程だ。

午睡は氣持がよい。

午後の海岸は人の姿もますます少く、空は曇つてゐる。紀念寫眞をとる豫定で、中島寫眞屋さんの姿が見えず、とう〳〵今日はお流れになる。うすら寒い。泳ぐ勇氣もなささうである。潮のさしかけて來た磯をつたひ、おしい程に淸められた小石の上を、足もとうかがびうかがひふみしめて、波立薬師にむかふ。鰐ケ淵を前にしておやつをいただき、薬師にお參りする。潮はます〳〵さしてくる、歸りは磯を通れさうもない。で道を山道にとつてもどる。昨日出船の手傳ひしてやつた船がもどつた。お禮に「いわし」一ばん量頂戴ア。大きな籠。生々した魚。おいしく養付けた「いわし」と、鰹の「さしみ」でお客さんの多い夕食を、戰場のやうないそがしさです。

（歌）海邊哀篇

（四倉岩礁にて） 飯村閑舟

あやまりて海に死ねもす若人の命の道の悲し短し。

親ごゝろ悔え責むるとも今はなし海に溺れぬ子のはかなくも。

およばざる若き力のためならず越えざる道を知らざるか彼かなしみを海に求めて哀れその姿は待てる親につくさす。

ひろびろき海に抱かれ身の遠く來たりて死ぬか賴りは儚なし。

=（一九三〇、八、七）=

讀者論壇

（投書歡迎） 一行十三字詰 卅行以上五十行迄

俸給生活者 （三）

四倉町 吉田生

◎俸給生活者の悲哀

近年は中間階級と云ふ言葉が流行してゐる、それは資本階級と無產階級の中間の階級と云ふことゝ見れば、經濟力にのみ着眼するものであつて、今日實際使用してゐる意味に當嵌らない。今は我國では中產階級、智識階級などゝ混同して用ゐてゐる向もあるが、大体は獨逸のヴエルニツク博士の言つてゐるやうに「中間階級とは普通敎育以上を有し純肉体的又は機械的ならざる相當智力を働かす仕事に從事し、肉體的又は機械的作業を統轄し、指導し、乃至は監督し且つ中程度の收入あり、時として又中程度の財產を有する人々の一團を云ふ」となすのが稍近いではあるまいか、果して然らば之れを具體的に云ふと、官吏、敎育者、中商工業者、辯護士等の自由職業者はそれに屬するが、俸給生活者はその一部であり得るものもあり、得ない者もある。多くは之れに當らないのみならず、勤務が雇傭關係の上に成つてゐると云ふ特徵を持つてゐる。物的生活に於て俸給生活者に纒はる不安の第一は彼等の服務關係が賃銀勞働者の場合と同じやうに、彼等自身の意思の外雇主の意思によつて左右されることである。物質文明の進展と共に所有者即ち支配者なりとの原則が培養されて、無產階級は被支配階級となり此の階級の一つの部門として俸給生活者なる一團が出來たのである。他の無產階級のそれと等しく雇主の意思から獨立することが出來ない。言ひ換へると彼等の勤勞には失業の不安が常に伴つてゐることである。而して今日學問の堪能よりも技術の堪能の方が一般に重寶がられてゐるだけに、技術勞働者よりも俸給生活者の不安の度が高い譯である。不安の第二は俸給生活者の得る所の收入が中產の農工商に比し著しく劣ること、太だしきは筋肉勞働者よりも劣る場合あることで、其の生活の上に當然に要求さるゝ社交的應酬や文化的敎養に事を欠くのみならず、時として現實の子女の生活物資をすら常に欠乏を繰返さるゝを得ないことである。この二つの不安は相重り相結んで一の鈍重なる苦惱となつて、現代人の腦裡に低迷する社會不安を形成してゐる。

印刷物は 加納活版所へ

謹告

近來本礦ガ隣山礦區ヲ侵掘ナシ賠償金ノ請求ヲ請ケシ如キ惡宣傳ヲナス鼠賊的卑劣漢ノアル事ヲ耳ニ致シ候モ全然事實無根ナルハ勿論要スルニ右ノ如キハ多年某主ヲ僞瞞シ私復ヲ肥シ居リ候惡漢ガ積惡ノ報ニテ解職トナリシヲ怨ミ私怨ニ耐ヘズ犬糞的行動ヲ敢テスル某醜類一派ノ策動ニ之有候條寧ロ彼等ノ內心ヲ御洞察下サレテ憫然ノ輩ト御一笑ニ附シ下被度本紙ヲ通ジテ謹告仕候

杉山礦長 薄(ウス)葉(ハ)富(トミ)保(ホ)

◎慢性萬病治療院開始

弊院實驗所は醫藥無効不治の病こしての中風、癌、肺結核、癲病、其他の難病、病名病原不名病ですら、めき〳〵こ快復します

但し治療中効能あらはれざる中は無料 一般難病者來り試みられよ

萬病必治 高速度複式療法

福島縣平實驗所 回春堂療院 福島縣平町仲町八番地

◎コークス大々的値下斷行

從來一俵金壹圓貳拾錢ノ……東京瓦斯コークスヲ……金九十五錢ニ……値下ゲ致シマシタ

‖一家ノ經濟ハ臺所カラ‖

◎使ヘ馴レヽバコークス程經濟ナモノハアリマセン
◎使用法ハ參上シテ御說明申上マス

配達迅速 御注文ハ一俵ヨリ御屆ケ致シマス

電話二三七番へ

平驛前 阿部石炭商店

安價…輕便…實用的 冷藏庫特價提供

◎特長

一、安價にして輕便且つ堅牢大衆向きであり眞に臺所の寶器であります。
二、絕緣材料として優秀なる山形ルーフイングを使用してありますから氷の消費量極めて僅少で非常に經濟的であります。
三、小型冷藏壹個の重量僅かに一貫五百匁位ですから野外携行用として又旅行用として飲食物其他、殊に生物の保存運搬に頗る便利であります。
四、病院又は各家庭に於ける病院用として至極經便にして重寶であります。
五、嚴寒の節には保溫器として用ひられ御飯其他日常飲食の溫かみを長時間保つ事が出來ます。

▲小型 間口一尺二寸、奥行一尺、高さ九寸 定價五圓五十錢
▲大型 間口一尺五寸、奥行一尺二寸、高さ一尺一寸 定價七圓五十錢

(久) 釜屋商店器物部

氷水

氷水	四錢
同いちご	八錢
同れもん	八錢
同ぶどう	八錢
アイスクリーム	一ぱい十錢
あづきアイス	一ぱい五錢
ミルクセイキ	一ぱい二十錢
氷セイキ水	一ぱい十五錢
氷あつき	十錢
同しら玉	十錢
同玉子水	十五錢
同ラムネ	十錢

御注文は電話三〇五番へ出揃迅速

平町字二丁目 藤市

君はいゝ型の洋服を求められたね。誰だね？ いや君コレは三丁目警察署通りの假營業所で販賣中のソレ正札堂さ

三丁目平警察署通 正札堂